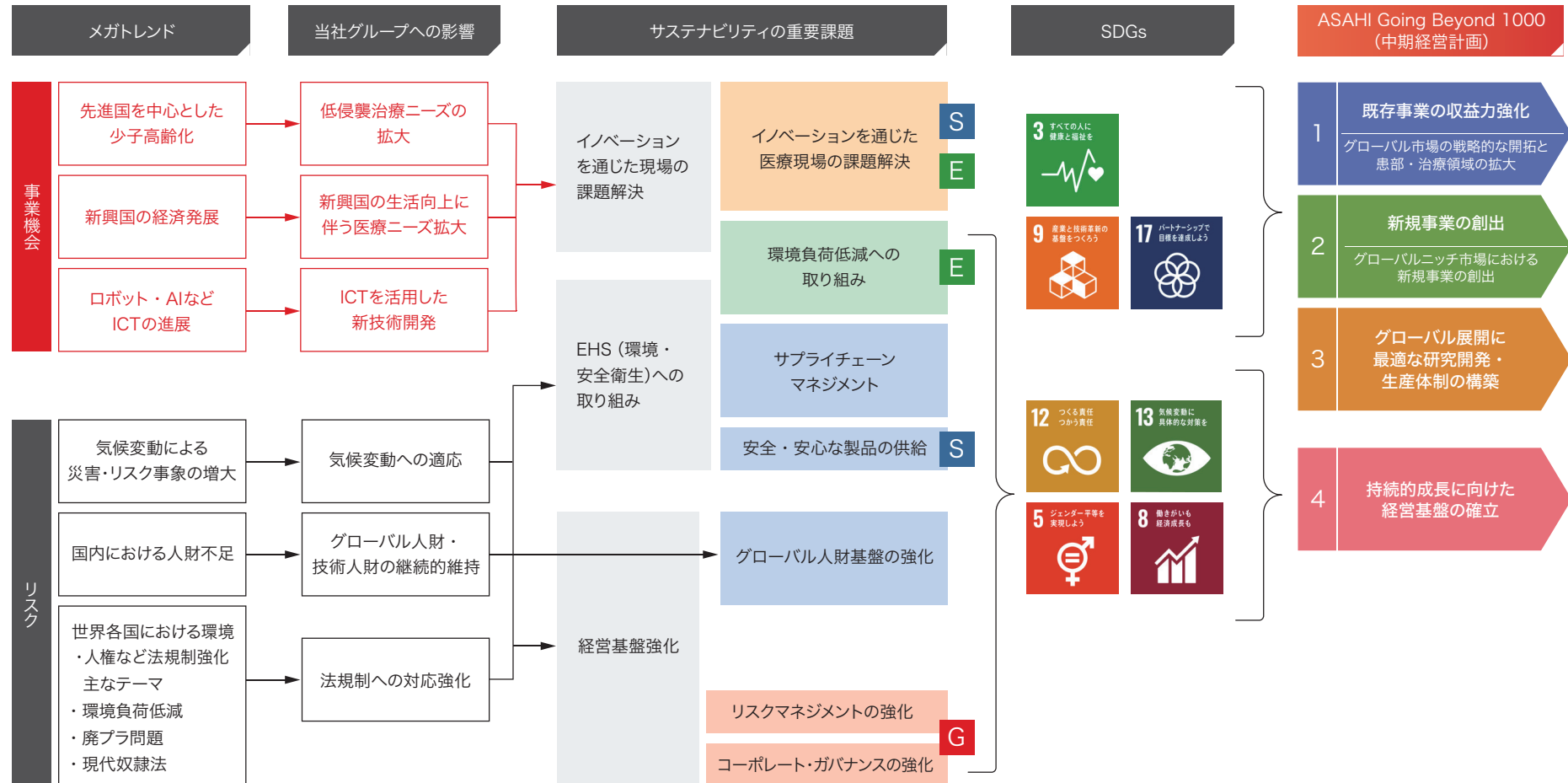


## 2-5 環境認識と重要課題 (マテリアリティ)

事業環境の変化が当社グループに与える影響を鑑み、サステナビリティの重要課題を検討しました。

重要課題に対して成長戦略、経営基盤強化の両面から取り組み、社会と当社グループのサステナビリティの実現を目指します。



## 2-6 重要課題（マテリアリティ）への取り組みと進捗

各重要課題に対する当社グループの取り組みと指標、実績を一覧化しました。

重要課題		取り組み	指標と実績
イノベーションを通じた現場の課題解決	イノベーションを通じた医療現場の課題解決 (→p.59参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●患者様の肉体的・精神的・経済的負担を軽減する製品の開発（メディカル事業）</li> <li>●顧客ニーズに対応した製品の開発（デバイス事業）</li> <li>・現場との協働</li> <li>・研究開発体制の強化</li> <li>・技術力の向上（技術戦略・知的財産戦略）</li> <li>・グローバル生産体制の強化</li> <li>・DXの推進</li> </ul>	世界の医療と人々のQOL向上 <b>当社の製品が救う患者様の数（当社推計）</b> <b>年間362万人</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高研究開発費比率 10.8%</li> <li>・特許権/意匠権保有件数 938件</li> <li>・設備投資金額 12,570百万円</li> </ul>
EHS（環境・安全衛生）への取り組み	E 環境負荷低減への取り組み (→p.93参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●CO<sub>2</sub>排出量削減の取り組み推進、再生可能エネルギーの利用など</li> <li>●地域清掃活動など各拠点で環境保護のための取り組みを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Scope1+2削減目標 → 2030年までに2022年6月期比で30%削減</li> <li>・Scope3削減目標 → 2023年6月期の売上高原単位排出量を維持</li> </ul>
	S サプライチェーンマネジメント (→p.101参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「朝日インテックグループ調達方針」に基づく法令・社会規範遵守</li> <li>●安定供給・高品質維持のためのサプライヤー監査</li> </ul>	グローバルに常に安定した供給体制を構築
経営基盤強化	安全・安心な製品の供給 (→p.103参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ共通のポリシーに基づく「品質方針」による品質保証の整備</li> <li>●品質マネジメントシステムの認証取得や外部監査の受け入れ</li> </ul>	
	グローバル人材基盤の強化 (→p.70参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人材マネジメント（人材ビジョンの浸透・人事制度改革）</li> <li>●働きがいのある職場づくり（健康経営、ダイバーシティ推進）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人管理職比率（グローバル）*1 60.5%</li> <li>・女性管理職比率（グローバル）*1 35.8%</li> <li>・女性管理職比率（単体）*2 12.3%</li> <li>・新卒技術系採用女性比率 33.3%</li> </ul>
	G リスクマネジメントの強化 (→p.129参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大規模災害への対応、BCP（事業継続計画）</li> <li>●情報セキュリティの強化</li> </ul>	安全と信頼を基盤とした事業継続
	コーポレート・ガバナンスの強化 (→p.124参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取締役会の実効性の向上</li> <li>●指名・報酬諮問委員会の設置</li> </ul>	取締役のダイバーシティ強化（女性比率15.4%）

\*1 当社グループにおける各規定の管理職基準に基づき算定しています。 \*2 有価証券報告書の開示基準を適用して算定しています。